

賛助会員

北海道栽培漁業振興公社 (〒 060-0003 北海道札幌市中央区北 3 条西 7 丁目北海道第二水産ビル 4 階)

阿寒観光汽船株式会社 (〒 085-0467 北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉 1-5)

全国海苔貝類漁業協同組合連合会 (〒 273-0017 千葉県船橋市西浦 3-2-2)

有限会社浜野顕微鏡 (〒 113-0033 東京都文京区本郷 5-25-18)

株式会社ヤクルト本社研究所 (〒 186-8650 東京都国立市谷保 1769)

神協産業株式会社 (〒 742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962-1)

理研食品株式会社 (〒 985-8540 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

マイクロアルジェコーポレーション株式会社 (〒 500-8148 岐阜市曙町 4-15)

(有) 祐千堂葛西 (〒 038-3662 青森県北津軽郡板柳町大字板柳字土井 38-1)

株式会社ナボカルコスメティックス (〒 151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-29-7)

日本製薬株式会社ライフテック部 (〒 598-8558 大阪府泉佐野市住吉町 26)

共和コンクリート工業株式会社 (〒 060-0808 札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

総合科学株式会社 (〒 540-0024 大阪市中央区南新町 1-4-8)

(株) 環境総合テクノス (〒 541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

表紙写真の説明

作品名：「海藻だらけのミュシャ風イラスト（神戸大会ロゴ）」

制作者：大村 現（豊中市，右の写真）

解 説：第 49 巻から 1 号（第 50 巻は 2 号）の表紙に大会のロゴを使うことが定着しているので，編集部より大会準備委員会へロゴの図版の提出を依頼したところ，予想以上に大胆なデザインが届いた。以下，制作者による作品解説：

突然にロゴ作成を頼まれたため，なにかアイデアはないかとネットを見ていたら，アルフォンス・ミュシャ（Alfons Maria Mucha；アール・ヌーヴォーを代表するグラフィックデザイナー）の絵が目に留まった。元の絵は当時の煙草用巻紙のために作成されたもので，女性が右手に持つ煙草から煙が左右に大きく蛇行しながらたなびく様子が描かれている。ふと，煙のかわりにコンブを置いてみたらどうかと思いつき，そのまま勢いで表紙のイラストを作成してしまった。ソフトウェアは CANVAS9™ を使用。

Front cover photo: "A Mucha-imitation with seaweeds": The original Alfons M. Mucha's illustration depicts smoke trailing from a cigarette in the right hand of a woman. The smoke was tentatively replaced with kelp, and it looked nice. So the woman was surrounded by several seaweeds, and she looked nice, too.

走査電子顕微鏡



Photo: Toshiro Suzuki

電子ビームを試料に当てて反射を観察することにより，試料の表面の様子を明らかにする電子顕微鏡の一種。この装置を用いると，細胞の表面構造を立体的に高倍率で観察することができる。

効果：

場に出した自分の原生物カードの攻撃力を2倍にできる。

特

©2006 PROTO-UNICELL PRODUCTION

超音波で見渡す藻場の世界

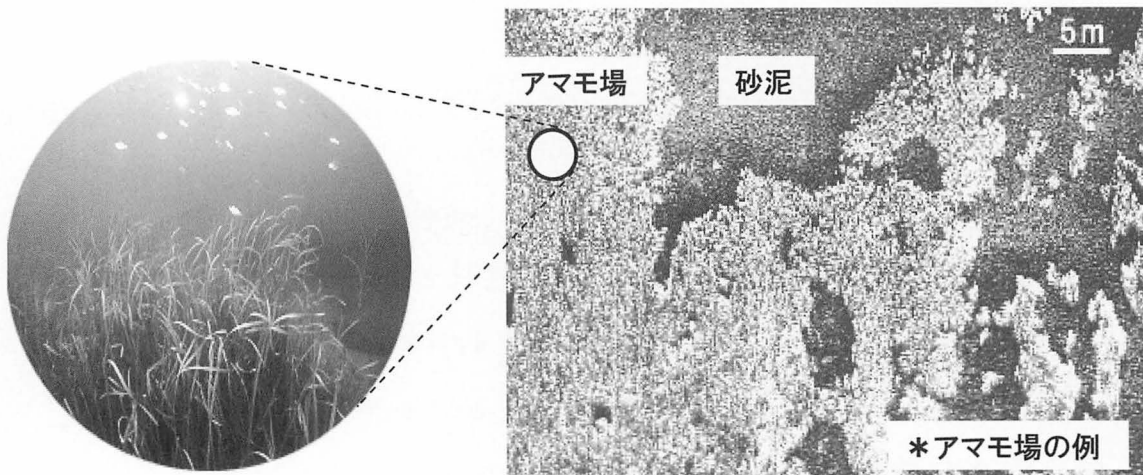
～ デジタル・サイトスキャンソナーを用いた藻場分布調査 ～



SYSTEM3000

<特徴>

- ・ 広域な藻場分布域を短時間かつ効率的に調査することが可能となりました。
- ・ 従来の調査と比較して、ダイバーを殆ど使わずに、低価格で高品質なデータ(分布状況)が得られます。



 三洋テクノマリン株式会社

<本社> 〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1丁目3番17号
TEL 03-3666-3417(代) URL <http://www.stm.jp>

海産微細藻類用培地

<特徴>

- ◎ 多彩な微細藻類に使用できる。
- ◎ 手軽に使用できるので、時間と労力の節約。
- ◎ 安定した性能。
- ◎ 高い増殖。
- ◎ 精製水に溶かすだけで、手軽に使用できる。

IMK 培地
は、多種多様な微細藻
類に使用可能な培地です。人
工海水 SP は、海水の成分が自
然に近い形で混合されており、
精製水に溶かすだけで使
用できます。

ダイゴ IMK 培地

100 L 用× 10 398-01333
1000 L 用× 1 392-01331

微細藻類に共通して使える培地です。
生育に必要な成分が含まれています。

ダイゴ人工海水 SP

1 L 用× 10 395-01343

海水 SP の成分が自然に近い形で混合
されています。

お客様のご要望に応じた培地も特注でお受け致します。

製造 日本製薬株式会社 ライフテック部
大阪府泉佐野市住吉町2 6 番
〒598-8558 TEL 072-469-4622

URL <http://www.nihon-pharm.co.jp/lifetech/>

販売 和光純薬工業株式会社
大阪府中央区道修町三丁目1 番 2 号
〒541-0045 TEL 06-6203-3741
東京都中央区日本橋四丁目5 番 1 3 号
〒103-0023 TEL 03-3270-8571

HITACHI

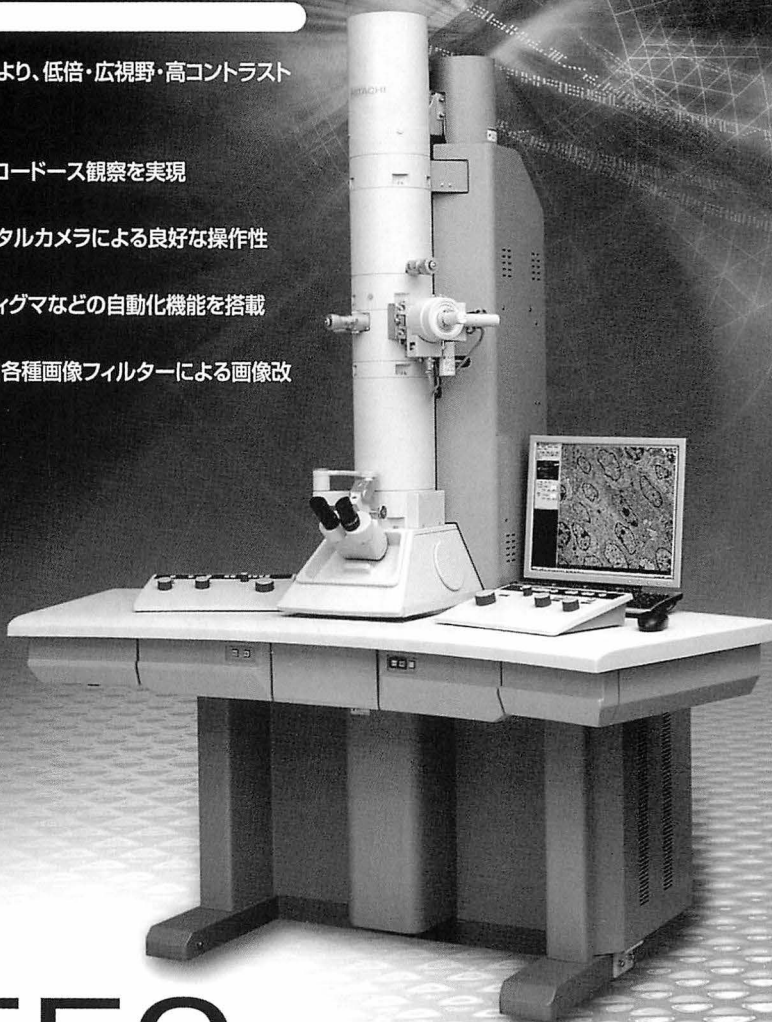
日立ハイテク

電子顕微鏡本体と高感度デジタル*カメラの 一体化により、快適な操作環境を提供。

*感度:対写真フィルム比・約40倍、対AMT社製HRカメラ比・約10倍

特 長

- ① 日立独自の複合対物レンズにより、低倍・広視野・高コントラストな観察が可能
- ② 高感度デジタルカメラによるロードス観察を実現
- ③ 本体と一体化制御されたデジタルカメラによる良好な操作性
- ④ オートフォーカス・オートスティグマなどの自動化機能を搭載
- ⑤ データベース機能、測長機能、各種画像フィルターによる画像改善などの豊富な機能を搭載



日立電子顕微鏡

H-7650

◎ 株式会社日立ハイテクノロジーズ

本 社 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号 電話 ダイヤルイン (03) 3504-6111
インターネットでも製品紹介しております。以下のURLへアクセスしてください。

URL <http://www.hitachi-hitec.com/em/>

北海道(札幌) (011) 707-3200 東 北(仙台) (022) 264-2218 筑 波(土浦) (029) 825-4811 中 部(名古屋) (052) 219-1670 関 西(大阪) (06) 4807-2552
四 国(高松) (087) 825-9977 中 国(広島) (082) 221-4514 九 州(福岡) (092) 721-3517 沖 縄 (098) 863-8295

新刊

小林 弘 珪藻図鑑

H. Kobayashi's Atlas of Japanese Diatoms based on electron microscopy

小林 弘 出井雅彦・真山茂樹 著 B5 判上製・総頁 596 頁・定価 35700 円
南雲 保・長田敬五

本書は、小社発行の「日本淡水藻図鑑」(1972) に所収されるべき珪藻の分類学の成書として長く刊行が待たれていた待望の書である。斯界の第一人者、故小林弘博士の名を冠する。プレートとその解説をはじめとし、特殊な用語が多く使われる珪藻の殻構造の解説を電顕写真や線画を添えて分かりやすく示した。分類体系には最新の研究成果を盛り込む。用語の英語、日本語、ラテン語の一覧表や、学名と和名の対照表などを付し読者の便宜を図った。

【内容目録】 凡例／新分類群・新組み合わせ・新用語／収録分類群一覧／珪藻の殻構造と用語
／珪藻用語対照表／珪藻分類体系／和文解説／欧文解説と図版／属の学名・和名
対照表／引用文献／学名索引

淡水珪藻生態図鑑

群集解析に基づく汚濁指数 DA_{lpo}, pH 耐性能

渡辺 仁治 編著 浅井一視・大塚泰介 著 B5 判上製・総頁 784 頁・定価 34650 円
辻 彰洋・伯耆晶子

日本のみならず世界各地から約 1500 のサンプルを採集、膨大なサンプルの生態情報を処理検討し、約 1000 種の珪藻についてその結果を分かり易くまとめる。生態情報の妥当性を期するため、すべてのサンプルを統一条件下で採集し、好清水か好汚濁か＝きれいな水を好むのか、汚れた水を好むのか等を判断する環境指標としての珪藻群集の適性を、多くの図版で具体的に示す。

総論 珪藻研究の歴史／環境指標としての珪藻群集／湖沼、河川共通の水質汚濁指数 DA_{lpo}／珪藻の生活様式／試料の採集／試料の処理と検鏡／形態(種の同定に関わる特性要素) 写真編 I 中心目(Centrales)の分類 II 羽状目(Pennales)の分類 II A 無縦溝亜目(Araphidineae)の分類 II A ディアトマ科(Diatomaceae) II B 有縦溝亜目(Raphidineae)の分類 II B₁ ユーノチア科(Eunotiaceae) II B₂ アクナンテス科(Achnanthaceae) II B₃ ナビクラ科(Naviculaceae) II B₄ エピテミア科(Epithemiaceae) II B₄ ニチア科(Nitzschiaceae) II B₅ スリレラ科(Surirellaceae) 学名総索引 事項索引

日本淡水藻図鑑

廣瀬 弘幸 編集 B5 判上製・総頁 960 頁・定価 39900 円
山岸 高旺

創案以来 10 余年を費やして完成した労作。

斯学の権威がそれぞれの専門分野を担当し、網羅的にまとめた貴重な図鑑。

(本書の特徴)

・全巻にわたり原則として図を左ページに、それらの記載を右ページに配し、図と記載とが一見して対照できるよう工夫配列。

・各綱について、その中の目・科・属の分類学的特徴を図などを用いて、わかりやすく説明し、詳細な検索表を付す。

・各属内の種の検索表には、図や記載のページを示し、また図や記載ページには検索表ページを付して、どちらからでも利用できる。

・種については図とそれぞれの特徴、国内の産地、世界的な分布を記し、特記すべき事項は備考として付す。

・随所に淡水藻の特別な種についての特徴、生殖法、または稀産種の産地、産状、分布、淡水藻の利用法、諸外国の著名な藻学者の小伝などをノートとして挿入。

・明治初期以来の日本淡水藻の分類学的研究を中心とする文献を網羅する。採集と研究法、略史も付した。

・巻末には学名、和名、術語の詳細な索引を付しているが、それらの記載ページ、検索表ページなどはそれぞれ字体を変えて示し、利用の便をはかっている。

表示の価格は税込定価(本体価格+5%)です。

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-34-3 内田老鶴圃
TEL.03-3945-6781 FAX.03-3945-6782

学 会 出 版 物

下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局までお申し込み下さい（価格は送料を含む）。

1. 「藻類」バックナンバー

各号、会員価格 1,750 円、非会員価格 3,000 円；30 巻 4 号（創立 30 周年記念増大号、1-30 巻索引付き）のみ会員価格 5,000 円、非会員価格 7,000 円；欠号 1-2 巻全号、4 巻 1, 3 号、5 巻 1, 2 号、6-9 巻全号。

2. 「藻類」索引

1-10 巻、会員価格 1,500 円、非会員価格 2,000 円；11-20 巻、会員価格 2,000 円、非会員価格 3,000 円；1-30 巻（創立 30 周年記念）、会員価格 3,000 円、非会員価格 4,000 円。

3. 山田幸男先生追悼号

藻類 25 巻増補, 1977, A5 版, xxviii + 418 頁。山田先生の遺影、経歴・業績一覧・追悼及び国内外の藻類学者より寄稿された論文 50 篇（英文 26 篇、和文 24 篇）を掲載。価格 7,000 円。

4. 日米科学セミナー記録

Contributions to the systematics of benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編, 1972, B5 版, xiv + 280 頁, 6 図版。昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で、20 篇の研究報告（英文）を掲載。価格 4,000 円。

5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究

1977, B5 版, 65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

2007 年 3 月 5 日印刷

2007 年 3 月 10 日発行

© 2007 Japanese Society of Phycology

日 本 藻 類 学 会

編集兼発行者

北山太樹

〒 305-0005 つくば市天久保 4-1-1

国立科学博物館植物研究部

Tel 029-853-8975

Fax 029-853-8401

E-mail kitayama@kahaku.go.jp

禁 転 載
不 許 複 製

印 刷 所

株式会社イセブ

〒 305-0005 つくば市天久保 2-11-20

Tel 029-851-2515

Fax 029-852-8501

Printed by Isebu Inc.

発 行 所

日本藻類学会

〒 657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

神戸大学内海域環境教育研究センター

Tel & Fax 078-803-5781

藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôruì)

第55巻 第1号 2007年3月10日

目次

玉置 仁・田中敏博・荒武久道・渡辺雅子・松本里子・山本智子・相生啓子・新井章吾 日本南限の多年生アマモおよび1年生アマモの垂直分布に関する観察事例	1
藻場の景観模式図	
寺脇利信・新井章吾：23. 佐渡島相川千畳敷地先	7
藻類学最前線	
長里千香子：中心体が関与するアピコプラストの分裂と分配	11
吉田忠生：福岡県朝倉市（甘木）のオキチモズクの生育状況	13
秋季藻類シンポジウム（2006. 11. 18）「海藻と健康の展望—大学研究室からの報告」講演	
小川廣男：現代の食事情における海藻の役割	15
佐藤 実：海藻由来の健康機能性成分—タンパク質，脂質由来の健康機能性成分を中心として—	24
田代有里：食感とレオロジー	29
堀 貴治：海藻資源からの糖鎖標的医薬素材・生化学素材・健康食品素材の開発	33
田中 学：2006 年度「藻類談話会」参加報告	39
博物館と藻類	
北山太樹：昭和天皇のご研究室—昭和天皇記念館の場合—	41
英文誌（Phycological Research）54 巻 3 号掲載論文和文要旨	42
学会録事	45
学会・シンポジウム情報	47
書評・新刊紹介	
千原光雄：小林弘珪藻図鑑 第1巻（小林 弘・出井雅彦・真山茂樹・南雲 保・長田敬五 著）	48
吉崎 誠：Algae of Australia: Nemaliales（John M. Huisman 著）	49
山口峰生：微生物ってなに？—もっと知ろう！身近な生命—（日本微生物生態学会 教育研究部会 編著）	50
寺脇利信：磯焼け対策シリーズ① 海藻を食べる魚たち—生態から利用まで—（藤田大介・野田 幹雄・桑原久実 編著）	51
編集部：大分県の海藻（神田正人 著）	51
会員異動・入会案内他	52
コラム [遊藻子] 幡野恭子：四都物語	40
[遊藻子] 編集部：堀・堀著「日本の巨樹イチョウ」	50
[藻の見遊山] 菊地則雄：企画展示「アサクサノリ—ノリの自然誌—」	44
日本藻類学会第31回大会（神戸 2007）プログラム	55